# うきしま

第34号
平成19年3月20日
ＰＴＡ広報部

## 祝　御卒業
### 平成18年度卒業式

## 第58回卒業式

三月一日、浮島分校体育館において、平成十八年度卒業式が行われ、十七名の卒業生が、それぞれの進路へ巣立っていきました。

午後六時二〇分から始まった卒業式では、国歌斉唱、校歌斉唱の後、田口校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡され、引き続き校長式辞、ＰＴＡ会長祝辞、来賓紹介、祝電披露が行われ、送辞を荒尾生徒会長が述べると、卒業生を代表して森野智恵さんが、涙で何度か声を詰まらせる、感動的な答辞となりました。

記念品の贈呈の後、蛍の光が参加者全員で歌われると、感極まった保護者席からも、涙声の蛍の光が聞こえて来ました。

閉式の後、全国定時制通信制教育振興会から二名の生徒が表彰を受け、四年間の皆勤賞を成し遂げた生徒にも校長から表彰状が贈られました。

卒業生退場では、卒業生に在校生から花束が贈られ、心温まるフィナーレとなりました。

舞鶴市民新聞や京都新聞からも取材があり、各紙面でも取り上げていただきました。

また、来賓の方々には、夜分にもかかわらず、京都府中丹教育局様、舞鶴市教育委員会様、舞鶴市立の各中学校長様、東舞鶴高校評議員様ほか多数御出席いただきました。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

卒業式の様子

# 挨　拶

**ＰＴＡ副会長　長瀬晴輝**

今年は例年になく暖冬で、喜んで良いのか、雪に苦しめられる事のない冬をすごす事が出来ました。そして、また、別れと出会いのシーズンがやって来ました。それは東舞鶴高校浮島分校にも…。

昼は働き夜は学校と、普通の高校生とは異なる生活をして四年間の高校生活を送り、時には学校へ行くのがツライ時もあった事と思いますが、四年間の学業を終えられて、それぞれが別の道へ踏み出そうとしております。

卒業は別れではなく、始まりです。夜間定時制課程を卒業したと言うことは、胸を張って言ってください。四年間の努力があれば、どんな困難にも立ち向かって行けると思います。

三年、二年、一年生の諸君も、紆余曲折はあると思いますが、有意義な高校生活を送り、全うしていただくよう願います。例年なら桜の咲く頃に新入生が入ってきます。皆さんも進級し、下級生が出来て、お手本となる行動が求められる様になります。

保護者の皆様におかれましては、日頃からＰＴＡ活動に御理解をいただき誠にありがとうございます。全日制課程と違い、全ての行事が(例外はありますが)夜に行われるという環境でのＰＴＡ活動に戸惑いもあった事と思います。四年間、お付き合いをいただきました会員の方々ありがとうございました。在校生の保護者の皆様は、もうしばらくお付き合いを願います。

私自身ＰＴＡ役員として、この一年何か役に立つことが出来たのか、はなはだ「？」ではありますが、他の役員、先生方のおかげで何とかここまでやって来られたとの気持ちでいっぱいです。

卒業生、在校生ならびに、それぞれの保護者の皆様、今後とも浮島分校をよろしくお願いします。

最後になりましたが、御卒業おめでとうございます。紙面上ではありますが、今後の益々の発展、活躍を御祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

在校生から花束を贈られた卒業生

# ■各学年のようす

**一年担任　山本　尚典**

早いもので、もう季節が一巡りしようとしています。自身を振り返ってみると、浮島分校に赴任してきてからは、あっという間に月日が過ぎ去ってしまったように感じ、一年が過ぎたということがまだ信じられないでいます。しかし、教室で生徒一人ひとりを見ていると、入学してきた時よりも一回り大きくなって見え、やはり月日はしっかりと流れていたのだなと確信させられます。

入学してきた時には期待と不安でいっぱいだった生徒も、仕事や学校生活で少しずつ様々なことを経験して、不安が自信に変わっていったのではないでしょうか。大変なことも、勇気を出して挑戦したこともあったと思います。けれど、そうやって自分から向かっていった事には、必ず意味があり、得られるものがあったはずです。受け身でいては、誰も何も与えてくれません。

生徒の表情からは、そうやって得られた自信がうかがえます。もちろん不安や焦りはあると思いますが、この一年間そういう気持ちを乗り越えて頑張った自分に自信を持って欲しいと思います。

自分がこの一年で何を得たかということは、自分ではなかなか気づきにくいものですが、一度ゆっくり自分を見つめ直して欲しいと思います。そして、どんな小さな事でも成長した部分が見つけられたら、これからの時間でそれを大事に育んで欲しいと思います。

きっと、誰にも負けない自信と強み、自分らしさにつながると思います。

## 二年担任　辻垣　晃一

二年生は今年もがんばりました。生徒会役員に立候補し学校の発展に尽くした人、進路を定め学習意欲が向上した人、友達同士で協力し合って学習に励んだ人、体育祭や文化祭に積極的に参加し盛り上げた人、全国高校生対抗ごはんＣＵＰに出場し活躍した人、課題学習に積極的に参加し自己表現力を磨いた人。

学校の勉強と特別教育活動は全力でぶつかることで大きな効果が出ます。各教科には人類の叡智がつまっているから取り組むことで自分の興味がどこにあるか見えてくるかもしれないし、特別教育活動は他の生徒との関係性を築いてコミュニケーションを通して人間として成長していきます。

実際、それを体現した人は目には見えない言葉では言い表せない力がついていると確信します。

そんな中、二年生にも学校を一日も休まず登校し、皆勤賞や精勤賞をもらった人がいたことは瞠目に値します。みんなに拍手を送りたいと思います。

## 三年担任　高橋　和也

三年の生徒達も自分の進級が気になり始めました。

いつも言っているのは、自分で進級するのであって、他人の力で進級するものではないということです。

先生たちが進級させるのではなく、自分の努力次第だと言ってきました。

仕事をしながら学校に通うことがこんなにも大変だということを私も痛感しましたが、やることはきっちりとやらせてきたつもりです。

あとは、無事に四年に進級できればいいなと本当に思っていますが「立つ鳥、後を濁さず」と言うように、教室を片付け、四年の教室に全員で入れるように準備しましょう。

そして今年の四年生の卒業式のように素晴らしい卒業式ができますように…。

## 四年担任　林　幹夫

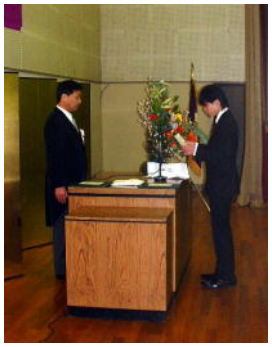
「これだけクラスにまとまりがあるんだったら、在学中にもっといろいろやりたかった。」卒業式が終わった後、４年生からこんな発言がありました。

決してまとまりのないクラスではなかったのですが、卒業式のクラスとしての一体感はこれまでにないものでした。

それは昼に仕事、夜に学業という大変な環境の中で、四年間という長い時間をともに過ごし、卒業を迎え、互いの努力を認め合えたからだと思います。

終わってみるとやり残した、やればよかった、なんて考えが出てきますが、卒業式を皆が笑顔で迎えられたことを最高に嬉しく思っています。

ご卒業おめでとうございます。



記念品贈呈

## 「ここで良かった」

ＰＴＡ　阿部　宗一郎

今年卒業した息子が一年生の夏休み前に言った言葉です。「休みになったらみんなの顔が見れんから、学校に行っている方がよい」私はこれを聞いて、『もう、これでだいじょうぶやなぁ、この学校を選んでほんとうに良かった』と、四年前につくづく思ったものです。

入学式ではどの顔もうつむきかげんだったのが、過日の卒業式では皆しっかりと前を見て、実にいい表情をしていました。なんとか学校を続ければ変わるものだと実感しました。

四年間の間にはレールからはみだす生徒もいますが、この浮島の学び舎こそが『よりどころ』である生徒を、「待っていたよ、お帰り」と懐深く受け入れて下さる先生方がいらっしゃる限り、ここで良かったと思う卒業生が毎年巣立っていくことでしょう。

先生方には言葉で言い表せない程お世話になりました。心から厚くお礼申し上げます。

卒業生退場

答辞

# 今年度の進路状況

進路指導部長　岩本　啓

**○在校生の就業率等**

二月末現在、登校生徒数は七一名で、就業率は約八五％です。職種はサービス販売業が八〇％・建設製造業が二〇％で、正社員は一名です。

**○在校生の就業**

在学中に就業を希望する生徒には、手続き等を明記した用紙を渡し、毎週木曜日にハローワークから発行され公開される求人情報を、学校で閲覧し、希望する企業の詳細な求人カードにて、保護者と相談をし、ハローワークの紹介として、受験します。

進路指導部から履歴書の書き方と下書き用履歴書を渡し指導します。就業が難しい要因の一つとして一八歳未満の求人が極めて少ないことです。

**○四年生の進路指導**

毎年七月一日から企業による求人活動が始まり、八月上旬の求人件数は二三〇件余りです。その求人情報のまとめ「求人票一覧」を七月中旬・下旬・八月上旬と生徒に公開・配布し、受験したい企業の求人票を進路指導部に請求し（複数請求も可能）保護者と相談の後、八月中旬の四者懇談会（生徒・保護者・担任・進路指導部）を経て八月二〇日頃までに受験企業を決定をします。

求人数や推薦人数もあり、希望企業が受験できるとは限りません。受験希望者数が求人数や推薦人数を上回った場合は、東舞鶴高校として全日制も含め校内選考となり、受験企業は一社のみとなります。

校内で履歴書等の指導、模擬面接指導も実施します。受験日は九月中旬以降です。今年度の求人の特徴は、派遣会社と遊技場が増加しています。浮島分校も同様に、舞鶴市内の生徒の多くは（約七割）地元就職を希望していますが、舞鶴市内の求人が少なく、特に女子限定の求人数は極めて少ない状況です。

平成一八年度の学校紹介による就職結果は二名が受験し、二名とも第一志望の企業に内定、十一名の生徒は継続就職となっています。

進学希望者は三名で、一名は四年制大学に、二名は専門学校に決定しました。

**○今後の進路指導について**

二年次から、進路について考えさせ、日頃の学習成績の積み重ねがいかに大切か、また企業がどのような人材を求めているか等を、個別にきめ細かく指導していく必要性があると考えており、来年度は早い段階で進路指導に取り組む予定です。

卒業…ヤッタゼ！

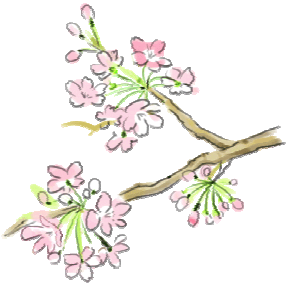
## 編集後記

広報部　小原　里美

私の息子が四年前浮島分校に入学し、昼間は仕事、夜は学校という中、一度も弱音を吐くことなく、四年間頑張りとおしたと思う。

生活環境がまったく違う者どうし、心配した交友関係も私が思ったほどのこともなく、良好であり、よい先生方に恵まれて、東舞鶴高等学校浮島分校に入学して良かったと思います。

ありがとうございます。



**平成一九年度一学期予定**

始業式　四月九日（月）

入学式　四月十日（火）